

## 第8回 日向工業高等学校建築科「よのなか教室」

平成27年11月12日（木）

講師：木村志保氏【しおみっこ子供教室】

テーマ：「中国滞在で経験したこと、異文化で育む友情」

私は十数年前に、中国の蘇州大学で3年間日本語の先生をしていました。当時は「一人っ子政策」が始まった頃に生まれた方たちが、学生として在籍していました。中国ではよほど成績の良いエリートしか大学に入れません。私は大学時代に中国に短期留学をした際、この国で働きたいと思いました。大学での専攻は英語の教員になるコースでしたが、親に内緒で日本語の教員養成の学校へも通い、資格を取りました。中国へ行ってまず驚いたことは、トイレに戸が無いことでした。水も流れないので大変戸惑いました。当時は各家庭にもトイレが無い状況でしたが、おそらく今は大分改善されていると思います。また食事の際、中国人は魚や肉の骨、飲み残したお茶などをテーブルや床の上に捨てます。これが中国の文化なのです。また、交通ルールが有って無いような状況にも驚きました。弱者優先という考えが無く、渡った者勝ちといった状態なので、中国に行ったら目的地に行くのに命がけです。反面、学生たちは非常に人懐っこく、みんなでボーリングや食事に行ったりしていました。中でもウイグル自治区出身の学生は大変勉強熱心でした。イスラム教徒なので、断食の時期があったり、食べてはいけない食材等があったりと、文化の違いを感じました。そのほかの生徒達も、授業が始まる前から熱心に取り組み、将来は官僚や起業人になりたいと言っていました。中国人はプライドが高く、面子（メンツ）を大事にする所が特徴的です。女性も日本人に比べて気が強い方が多いと思います。結婚したら、家事や子育ては夫がする事が多いので、レディーファーストが進んだ国だと感じました。当時、反日感情が予想以上に激しく、日本で言う終戦記念日には、日本人は外出を控えなければならないほどでした。今思えば、反論できるだけの知識を持っていれば良かったなと思います。しかし中国の人たちは、一度友達になれば一生続くという点では、見習うべき部分だと思います。情に厚く優しい人も多かったです。3年間の経験でしたが、機会があれば、もう一度中国で日本語の先生をしてみたいと考えています。それぐらい刺激的な体験でした。



～生徒の感想～

- 僕は中国を危険な国だと思っていました。しかし今回の話を聞いて、礼儀や人間関係をととても大事にする、いい人もたくさんいることが分かりました。今回の話で特に印象に残ったことの一つ目は、中国人は冷めた料理を食べないことです。日本には冷たい料理もたくさんありますが、それを食べない文化があるのだと知りました。二つ目は、中国のトイレについてです。男性トイレには鉄板が敷いてあるだけのもので、このトイレにはかなりの慣れが必要なのだと思いました。三つ目は、交通マナーが無いという事です。もし、これで事故になった場合、加害者と被害者はどうなるのでしょうか。木村さんの話では、渡った者勝ちという事なので、正直やばいと思いました。「中国のおすすめのスイーツは？」という質問に対し、木村さんは「タピオカをジュースにしたものが美味しい」とおっしゃいました。最近聞いたニュースでは、中国のタピオカは古タイヤと革靴から作られている偽物があるとのこと。こういった事件は怖いと思いますが、今回の話を聞いてそんなに悪い国ではないのかなと思いました。＜藤田顕伍＞
- 僕は中国にあまりいい印象がありませんでした。それはなぜか、中国では反日デモが多発しているからです。しかし、今回木村さんのお話を聞いて中国への印象が変わりました。木村さんにとって悲しい出来事があり、授業もできないほど落ち込んでいた時、生徒達がみんなで慰めたり、花を持ってきてくれたりと、優しく接してくれたそうです。中国にも優しい人たちが沢山いるのだと感じました。木村さんは、中国の人たちはとても人懐っこいので親しみやすいと言っています。しかし、知らないおじさんに日本語で「日本に帰れ」と言われた事もあったそうです。僕は中国の人たちはとても愛に溢れているのだと思います。自分の国を愛しているからこそデモを起こしたりするのでしょう。中国は日本と異なる部分が多くあります。冷めた食べ物を食べない事には驚きました。お弁当も食べないそうです。しかし、常に暖かいものを食べられるのは、ちょっとうらやましいです。またすごいのが木村さんは中国語を約2ヶ月でマスターした事です。中国語は難しいと思いますが、それをたった2ヶ月でとは、大変な苦労もあったのだと思います。今日は、中国への印象がとても変わった良い話でした。＜葛和秀也＞
- 私はずっと、父が中華料理をしていた事もあるし、少しだけ中国に興味があったので楽しい話でした。日本と中国の文化は大分違いました。例えば食事について、中国では基本的に冷めたものは食べないし、飲み物は常温で出てくるので、冷えたビールやジュースはその旨注文しないといけない事や、お酒は食事中に何度も乾杯し、必ず一気飲みすること。食べ残した骨や殻などを、テーブルの上や床に平気で捨てる事を聞いて驚きました。日本の文化では絶対あり得ない事だし、後片付けも大変だろうから、このあたりは日本を見習ってほしいと思います。交通関係でも、信号があるのに機能していないなど、信号無視が普通になっているのは危ないと思います。しかし、中国の人達は常にトップを目指す傾向があるそうです。この辺は日本人も、もっとプライドを持って見習うべきだと思います。木村さんは中国語を2ヶ月で覚えたということでした。私も努力して、測量士補の試験で受かるように頑張ってみようと思いました。＜山本恭輔＞